

2022年
夏

どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市鯉田2525-44
TEL 25-3280

つくります!
newしいづかライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

天の川紅葉を橋に渡せばや

たなばたつめの秋をしも待つ

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。

今年は、梅雨明けが早く驚きました。また、7月に入ってから暑さには参りました。

コロナウイルス感染症は、皆様の日頃の感染予防対策の効果、ワクチン接種の効果で落ち着いて来たように見えます。しかし、報道によると夏休みに入り多くの人が移動すれば感染者の拡大が懸念されると言われています。

わたしは、7月に入りコロナウイルス感染防止のための4回目のワクチン接種の案内が届きましたので、皆様にこの議員活動報告が届くころまでには、接種をするつもりでいます。(3回目の接種後は身体が怠くて一日中寝ていましたが、感染の方が怖いので。)

飯塚市議会では、令和4年5月26日から5月27日に臨時市議会が開催されました。

この臨時市議会で、松延隆俊議員が一身上の都合で議長を辞職し、後任に秀村長利議員が議長に就任(任期は令和5年4月の次期改選まで)致しました。

6月定例会市議会が令和4年6月13日から6月27日まで開催されました。

今回の定例会市議会では、一般質問で「小中学校統廃合後の、利用未定の旧学校施設・旧学校敷地について」として、JR新飯塚駅東口側にある飯塚市歴史資料館、サン・アビリティーズいづか、飯塚市社会福祉協議会を移転し定住人口増加に取り組むことを要望致しました。また、「中学校の運動部の部活動の在り方について」として、運動部の部活動への外部指導者による指導の在り方について市の取り組みを質しました。

令和元年6月定例会市議会で「次回の飯塚市議会議員選挙から議員定数を28人から24人とする。」ことが、賛成21人、反対6人で決まっていたましたが、今回の定例会市議会に「議員の定数を24人から28人に戻す。」条例改正案が議員提出議案として提出されました。採決の結果、議長を除く27人中、賛成15人、反対12人で可決されました。

(わたしは、議会に対しての市民の意見を聞く機会を設ける決議案を提出しましたが、市民の意見は聞く必要が無いとのことで、賛成少数で否決されました。)

令和4年6月定例市議会が開催されました。

令和4年6月定例市議会が、令和4年6月13日から6月27日まで開催されました。

今回の定例市議会では、次の議案が審議されました。

○新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮者自立支援金 8,155 万 8 千円、低所得子育て世帯生活支援特別給付金 (対象児童 1 人当たり 5 万円) 1 億 3,004 万 2 千円が計上された「令和 4 年度飯塚市一般会計補正予算 (第 1 号)」(令和 4 年 5 月 30 日専決)

○嘉穂劇場保存整備事業 (耐震診断調査委託料、嘉穂劇場入り口駐車場用地購入費) 1 億 884 万 4 千円、空家等対策事業 (空家の流通システム・管理システム構築委託料) 9,650 万円等が計上された「令和 4 年度飯塚市一般会計補正予算 (第 2 号)」

○新体育館の整備に伴い、施設に関する趣旨、設置及び使用料等について規定する「飯塚市総合体育館条例」

○相田・横田・幸袋・立岩・芳雄町・飯塚特別用途地区についてコンパクトなまちづくりの実現を図るため建築物の用途制限について規定する「飯塚市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例」

○飯塚市立病院に、診療体制強化のため常勤の医師と看護師を配置した救急科を新たに診療科目に設ける「飯塚市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」

○新体育館に移動式観覧席を設置するため 7,843 万円でグッドイナフ(株)を契約先として取得する「財産の取得 (移動式観覧席)」

○飯塚市消防団颯田方面隊第 4 分団に消防ポンプ自動車を配備するため 2,076 万 8 千円で(株)ナカムラ消防化学を契約先として取得する「財産の取得 (消防ポンプ自動車)」

○内野宿長崎屋 (管理棟) を不法に占有している以前建物を主体的に管理していた人物に対して、飯塚市有建物から退去及び土地の明渡しを求める訴えを提起する「訴えの提起 (建物退去土地明渡請求事件)」

○14 か所の路線を市道と認定する「市道路線の認定」

○幸袋交流センター整備事業、文化会館改修事業、体育館等建設事業の継続費を令和 3 年度飯塚市一般会計歳出予算に設定したので報告する「継続費繰越計算書の報告 (令和 3 年度飯塚市一般会計)」等の報告議案 10 件が審議されました。

また、追加議案として、各小学校運動場照明の LED 化工事を行う照明設備改修工事費用 3,100 万円、生活保護世帯を含む子育て世帯へ子育て応援券 (世帯当たり 3 万円) 費用 6 億 9 千万円が計上された「令和 4 年度飯塚市一般会計補正予算 (第 3 号)」と、口春 (頭首工) 災害復旧工事を丸島・オカベ特定建設工事共同企業体と 1 億 7,765 万円で契約する「契約の締結 (口春 (頭首工) 災害復旧工事)」が審議されました。

今回の本会議では、議員提出議案 7 件が審議されましたが、その内 2 件は、飯塚市議会議員の定数に関する議案で、議案内容、採決結果は次の通りです。

◎議員提出議案第8号 「議員定数をはじめとして市民にとって最適な議会のあり方の検討に関する決議」(わたしが提案者となり、定数を24人から28人へ戻す請願が、3月定例会市議会で議長を除く27人中、賛成13人反対12人棄権2人で可決されましたので、改めて市民の皆様のご意見を聞く場を設け、市議会のあり方について市民の皆様と考えることを、下記案文で提案致しました。)

議員定数をはじめとして市民にとって最適な議会のあり方の
検討に関する決議(案)

議会は、市民から選挙された代表機関であり、政策決定や、市長等の事務の執行にかかる監視及び評価を行う責任を担う一方で、議員定数や報酬など自己の身分について自ら決定する責任も負っています。

私たち飯塚市議会は、令和元年6月、次回の一般選挙から議員定数を4人減じ、24人とする条例改正案を賛成多数で可決しました。

その後、令和3年9月に市民から提出された「請願第4号 飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願」は、女性をはじめ多様な市民から構成される議会となるよう、議会で有識者や市民の意見を聴くなどして、議論を深めた上で、議員定数を改正前の28人に戻すことを求める請願でしたが、議会運営委員会に付託して審査した後、令和4年3月に賛成多数で採択しました。同じ議員構成でありながら、令和元年6月とは異なる意思決定となったものです。

議員定数のあり方については、その後、市民団体の主催により、令和4年4月30日に徳波交流センターにおいて「議員と市民の意見交換会」が開催されましたが、その案内文には「いずれも市民不在の結論であることには変わりはありません。」との指摘があり、また、令和4年5月30日付西日本新聞朝刊の社説は、「議会は民意を基にした、自治体の意思決定機関である。その役割の重さを考えれば、定数は議員だけでなく、住民を交えて最適解を探るべきだ。」「意見交換会で市民は『削減に賛成、反対双方の議員の意見が聞きたい』と要望した。市議会は議決する前にこうした声に応えるべきだ。」などと述べています。

請願はすなわち強制力を持つものではありませんが、市民の代表である我々議員が再び市民の意見を聴くことなく、令和元年6月の議決を覆す議決を行うようなことがあれば、私たち議員は、市民の批判を免れることはできず、また、政治への不信につながりかねません。

そこで、飯塚市議会は、議員定数をはじめとして、市民にとって最適な議会のあり方について、市民と意見交換を行う機会を設け、検討を行った上で結論を導き出すことをここに表明します。

以上、決議する。

飯塚市議会

採決の結果は、賛成少数で否決されました。

◎議員提出議案第9号 「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」
 (市議会議員の定数を24人から28人へ戻す請願が、3月定例会市議会で可決されましたので、条例の議員定数24人を28人に戻すことを定める提案で提案理由の案文は次の通りです。)

議員提出議案第9号 令和4年6月14日

飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を次のように定める。

提出者	飯塚市議会議員	金子 加代
	#	兼本 芳雄
	#	川上 直喜
	#	深町 善文
	#	江口 徹
	#	小幡 俊之
	#	吉松 信之
	#	福永 隆一
	#	田中 博文
	#	鯉川 信一
	#	平山 悟

提案理由

請願第4号「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願」に基づき、飯塚市議会の議員の定数を28人と定めるため、本案を提出するものである。

なお、本条例案は、令和元年7月の条例改正が市民との対話がなされないまま行われたことを反省し提出するものであり、議会は、議会のあり方及び議員定数の考え方について、次の一般選挙後に市民の参加の下に検討を行い、その結果に基づいて必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

採決の結果、提出者11人に加え、永末雄大・松延隆俊・城丸秀高・吉田健一の4人の議員が賛成し、議長を除く27人中、賛成15人、反対12人で可決されました。(令和元年6月定例会市議会で議員定数を24人とすることに賛成した21人の議員の内、9人の議員が定数を28人に戻すことに賛成致しました。)

「学校統廃合後の、利用未定の旧学校施設、旧学校敷地について」一般質問を行いました。

JR 新飯塚駅東側には、飯塚市歴史資料館、サン・アビリティーズいづか、飯塚市社会福祉協議会等が、飯塚市の市有地に立地しています。

この市有地に立地している各施設等を、学校統廃合後にまだ利用が定まっていない旧学校敷地へ移設し、JR 新飯塚駅東側の再開発と、旧学校敷地跡地の有効利用について、昨年の 6 月定例市議会の一般質問に引き続き市の街づくりへの取組みを質しました。

質問 小中学校統廃合後の、旧学校施設、旧学校敷地の民間への売却、地域交流センターへの再利用などが進んでいますが、残る旧学校施設、旧学校敷地のうち、再利用方法が確定していないのは何校になりましたか。

答弁 旧潤野小学校、旧楽市小学校、旧鎮西中学校、旧飯塚第三中学校の 4 校となっている。

質問 残りの跡施設、跡地の再利用については、今後の取組みについてはどの様になっていますか。

答弁 「飯塚市公共施設等のあり方に関する第 3 次実施計画」に基づき民間事業者へ売却することとしている。

質問 「飯塚市公共施設等のあり方に関する第 3 次実施計画」では、平成 30 年から実施され、平成 33 年（令和 3 年）の中間点では計画の改定を行うとされていますが、改訂された計画はどうなっていますか。

答弁 施設の最適化な取組みを検討し、併せて、長寿命化の方針を策定している。

質問 建設から 80 年間使用する計画の「サン・アビリティーズいづか」の今後約 40 年間、維持管理する費用についてはどの様になっていますか。

答弁 改修工事費用の試算合計額は、約 9 億 4,300 万円となる。

質問 「飯塚市歴史資料館」の敷地 7,042 m²で、施設は建設後 40 年が経過しています。この施設についての今後の維持管理はどの様に考えていますか。

答弁 長寿命化を考えており、改修工事費用の試算合計額は、約 12 億 4,762 万円となる。

質問 「飯塚市立地適正化計画」（平成 29 年 1 月策定）では、生活利便性施設と徒歩圏人口カバー率の圏域（徒歩圏の範囲）の設定を 800m としています。

JR 鯉田駅から旧飯塚第三中学校の跡地までの距離が約 700m であることは、この計画の徒歩圏の範囲内であり、公共施設の再配置の場所であると考えますが如何ですか。

答弁 JR 鯉田駅から半径 800m の範囲に旧飯塚第三中学校の敷地全体が含まれます。

質問 市が所有する施設敷地と飯塚市社会福祉協議会の施設敷地の総面積は幾らです。

答弁 総面積は1万5,934.79㎡となっている。

質問 JR新飯塚駅東側の民間開発の、住居1戸当たりの建設面積から考えた場合、市の所有する敷地面積では、何戸程度の居住戸数が予測されますか。また、居住人口は何人程度増えると予想されますか。

答弁 国土交通省算出データの1住宅当たりの延べ床面積で計算すると、375戸の居住戸数が考えられる。居住人口については、国勢調査により1戸当たり2.15人として算出すると約806人の増加が見込まれる。

質問 人口が増えることにより、市の歳入はどれぐらい確保できる可能性がありますか。

答弁 人口が806人増加する場合、国からの交付税を1人当たり9万円とし、375戸の家屋の固定資産税、1万5,934.79㎡の土地の固定資産税、375戸の納税義務者による市民税を見込んだ場合、1年間で約1億3,849万円の増加が考えられる。

質問 年間で約1億4千万円、今後40年間で考えると約56億円の歳入が確保できる可能性があるのであれば、旧飯塚第三中学校跡地への施設移転等を考えては如何ですか。

答弁 今後、当該地の利活用方法については、地元や関係団体と協議を行いながら検討していきたい。

質問 定住人口を増やすには、それなりの計画を持って取り組むことが必要と考えますが如何でしょうか。

答弁 質問議員が言われる様に、将来のビジョンを持って考えていく必要があると認識しているので、今後そのように取り組んでいきたい。

「中学校の運動部の部活動の在り方について」 一般質問を行いました。

ある民生委員の方から、中学校で教育上問題のある運動部の部活動が行われているとの指摘があり、飯塚市の中学校での運動部の部活動の実態について教育委員会に質しました。質問を通じて、教育委員会では各中学校の部活の外部指導者の実態把握がなされていないことが分かりました。中学校の部活動については、学校の教師の負担を軽減するため、2025年度から休日の地域移行が、スポーツ庁より示されていますので、今後の外部委託についての在り方を検討するためにも、改めて、現状の部活動の状況を把握することを要望致しました。

質問 市長へ匿名で民生委員の方から、中学校の運動部の部活動の在り方について問題が生じているので対応を要望する手紙が届いていますか。

答弁 令和4年4月19日に学校教育課に届いており、①部活動の顧問教師と外部指導者の言動が指導者に適さない。②学校内での部活動終了後、顧問教師、外部指導者が同席して学校外で練習を行っているが、義務教育の範囲で許容されるものなのか。③父母会が主催する形で顧問教師、外部指導者が同行し他県へ保護者に多額の費用負担も生じる宿泊を伴う練習試合に行くことが、学校長の許可なくして実施することが可能なのか。3点の内容の手紙が届いている。

質問 部活動の顧問教師や外部指導者に問題があるとの指摘ですが、中学校における運動部の部活動については、「福岡県運動部活動の在り方に関する指針」が平成30年12月に県教育委員会が出されていますが、ご存知ですか。

答弁 指針については承知している。内容についても各学校へすでに周知している。

質問 県の指針では、市町村教育委員会に対して「本指針を踏まえ、県と同様に取り組むよう働きかけるものとする。」と述べられていますが、飯塚市では、この指針に沿って中学校の運動部活動を行っているのですか。

答弁 令和4年3月に「飯塚市運動部活動の在り方に関する指針」を策定し、5月に各中学校へ周知した。

質問 市の指針が策定されるまでの4年間は、部活動はどのような考えのもとで行われましたか。

答弁 県の指針に沿って実施してきた。

質問 県の指針では、部活動の方針の策定に関して、各学校の方針と年間計画等を学校のHPへの掲載等により公表することになっているが、市内では何校公表していますか。

答弁 5月の周知後、10校中6校が公表している。

質問 民政委員の方の指摘を受けて教育委員会では、該当する中学校の運動部の活動のあり方について指導をされましたか。

答弁 当該学校長へ事実確認を依頼し、顧問教師、外部指導者への指導、保護者への説明会の開催など、必要な対応を行うよう指導した。

質問 指導された結果、その中学校の校長は、該当する運動部の保護者を集め5月下旬に運動部の今後について説明会を開催されていますが、その際の外部指導者の発言は、配慮に欠けた内容だったとのこと。教育委員会は把握していますか。

答弁 保護者が誤解するような発言が多少あったと聞いている。

質問 県の指針の中の、教育職員外指導者登録に際しての届出用紙では、登録される外部指導者の条件が示されていますが、条件に合っていると思いますか。

答弁 部活動の指導者は教育的見識を備え、生徒指導面への配慮が必要であると示されており、指導における生徒に対する暴言などはあってはならない。生徒及び保護者に活動方針や年間計画等を十分理解してもらい、県、本市の指針に沿った部活動指導を行うよう取り組んでいく考えです。

経済建設委員会報告

「飯塚市物産展」開催を要望致しました。

飯塚市では、令和4年5月17日(火)、18日(水)に九州市長会が開催され、この2日間に合わせ市役所1階で福岡県物産展が開催されました。

この物産展では、飯塚市のふるさと納税の返礼品のみで受け取れる「ハンバーグ」や「いづかブランド認定製品」などが販売されました。

「いづかブランド認定製品」とは、令和3年度から飯塚市が、市の知名度の向上と特産物の創出を推進し、地域経済の活性化を図るために取り組んでいる事業です。

(令和3年度では、「倉重酒店のあまざけブッセ・養生甘酒あまざけたろう」「蛭子屋合名会社のオーガニック味噌」「㈱ワイエスピーの無添加豆乳必ず訪れる幸せ・とろける大豆シリーズ(恵・美)」等、市内11社の17品目が認定されています。)

この物産展には、平日にも関わらず多くの市民の皆様が訪れ、次回の開催を要望する声を多く頂きましたので、6月22日開催の経済建設委員会で、「飯塚市物産展」として開催することを要望致しました。

旧地方卸売市場跡地の開発始まる

菰田・堀池地区の旧地方卸売市場跡地に、令和4年7月7日に令和5年夏の開業を目指した㈱イズミによる大型商業施設「(仮称)ゆめタウン飯塚」の起工式が行われました。

商業施設の概要

敷地面積 5万5,200㎡

延床面積 8万8,500㎡

売場面積 3万0,500㎡

店舗数 100店舗

駐車場 2,200台

構造 鉄骨地上3階建て

複合映画館併設

雇用 約1,500人

今後、JR飯塚駅周辺の活性化が進み、定住人口の増加も期待されます。

